

2016（平成28）年度事業報告

法人の名称 特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか

自 2016（平成28）年4月1日 至 2017（平成29）年3月31日

1 事業活動・成果報告

一年を通じ不登校の子ども及びひきこもりの若者支援の事業に取り組んだ。子どもたちや若者たちに寄り添い、社会参加するきっかけを作るための場と機会の提供を行った。居場所や学習支援、就労支援を卒業した子どもや若者らにとっても安心して過ごしたり相談できる場となっている。

横須賀市市民生活課「よこすか元気ファンド」を団体の基盤作りに活用した。

2 各事業報告

(1) 学校外で育つ子ども達及び孤立する若者への居場所の提供

- ・内容 不登校の子ども及びひきこもりの若者の居場所作りを進めるフリースペース事業を行った。
フリースペースでゆっくり過ごす日常の活動に加え、絵手紙、散歩、菓子作り、調理、プログラミング、スポーツ、陶芸、コラージュ、手芸、園芸、遠足（農業体験、横須賀美術館、猫カフェ、マザー牧場）、クリスマス会等を行った。
横須賀市青少年自立支援関係機関連絡会議に参加した。
一人一人に合った支援を行い、社会参加（学校復帰や進学）した利用者が複数名いた。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース他
- ・従事者員数 5名（島田、石井、伊藤、齋藤、辻村）
- ・対象者 不登校の児童・生徒とひきこもりの若者5名延べ337名
- ・支出額 294,473円

(2) 不登校及びひきこもりの子ども・若者とその家族に対する支援活動

ア) 働きたい若者たちへの就労支援事業

- ・内容 若者が一般社会において必要な知識、経験を積むことを目的として、座学と実践を行った。他団体を見学し連携を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース・はるかぜ書店
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 ひきこもりの若者1名 延べ126名
- ・支出額 140,591円

イ) 不登校及びひきこもりの子どもを持つ親たちへの支援事業

- ・内容 今年度は実施しなかった。
- ・日時 なし
- ・場所 なし
- ・従事者員数 0名
- ・対象者 0名
- ・支出額 0円

(3) 子ども・若者の学習の支援活動

ア) 子ども・若者の学習不安への支援活動

- ・内容 不登校、発達障害、生活保護受給世帯および学習不安を抱く子ども・若者に安心して学べる機会を提供した。学校の授業の補習、定期試験対策、高校受験、高卒認定試験対策、大学受験に対応した。
中学三年生3名が全員高校進学をし、高校三年生1名、既卒生1名が大学進学をした。
神奈川県立大楠高校及び横須賀市立総合高校と連携会議を行った。
公立学校及び行政とケース会議を行った。
横須賀市生活福祉課より委託を受けた「社会的居場所づくり事業」を活用し、中学三年生18名を受け入れ、全員高校進学した。また、中学二年生8名を受け入れた。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人学習スペース、創楽舎
- ・従事者員数 18名（島田、石井、伊藤、他非常勤職員8名、ボランティア7名）
- ・対象者 学習に不安を抱いている児童・生徒・若者16名 延べ711名
- ・支出額 5,310,822円

イ) 不登校・進路相談会への参加

- ・内容 神奈川県、横須賀市、鎌倉市の教育委員会が主催する学校・フリースクール等連携協議会及び不登校相談会・進路情報説明会、神奈川県子ども・若者支援連携会議に参加した。
特に神奈川県学校フリースクール連携協議会においては企画委員として参画している。
- ・日時 4/26、5/2、5/23、6/4、6/15、7/16、8/19、9/7、9/14、10/1、12/27、1/23、2/4、2/15
- ・場所 神奈川県民センター、鎌倉市役所、横須賀市役所、横須賀市総合福祉会館、横須賀三浦県政総合センター
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及び一般市民620名
- ・支出額 51,000円

(4) 子ども・若者とその家族・教育関係者・学生・市民の交流の機会及び場の提供

- ・内容 当法人の活動の一端を担うボランティアを受け入れた。
県立横浜修悠館高等学校より単位認定プログラム受講生徒の受け入れを行った。近隣の中学校より、キャリア教育の一環として職業体験の受け入れを行った。
公立学校教員の研修受け入れを行った。
横浜市立大学学生の卒業研究に協力した。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人フリースペース、はるかぜ書店、商店街ほか
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民19名 延べ1,093名
- ・支出額 50,000円

(5) 教育や不登校・ひきこもり等に関する相談及び情報提供

- ・内容 当法人の活動を生かした実践的な経験に基づく相談を行うとともに、相談員を配置し、専門的な視点からの相談も実施した。職員がファイナンスプランナーの資格を取得し、経済的な相談にも対応できる体制を整えた。
神奈川県立青少年センター青少年サポート課「フリースペース等事業費補助金」及び横須賀市生活福祉課「社会的居場所づくり事業」を活用し、相談業務を行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人相談スペース
- ・従事者員数 3名（島田、石井、吉本）
- ・対象者 正会員及び教育・子ども等について悩みをもつ人々1,558名
- ・支出額 434,961円

(6) 他の市民活動団体との交流活動

- ・内容 神奈川県及び横須賀市等のNPO及び任意団体との交流を行った。
横須賀市域の商店街活性化に尽力した。上町商盛会の理事として理事会に出席した。また、上町イベント実行委員会に参画した。横須賀商店街連合会青年部においては横須賀市内の商店街関係者と交流を図った。
東中里町内会の組長として担当業務を行った。
わかもの互立ネットワークにおいては、運営に関する助言と困難を抱える若者に対するサポートについて検討した。
横須賀市立市民活動サポートセンター運営懇話会に参加し、運営に関する助言を行った。
横須賀・三浦半島を元気にするプロジェクトに参加した。
- ・日時 3/27、4/1、4/3桜まつり・7/15、16灯ろうまつり・7/23、24中里町内会祭礼・9/10フリフリフェスタ・10/24～26収穫祭・10/22ハロウィンフェスティバル・11/5、6産業まつり・11/19県立保健福祉大学パネル展示・その他通年
- ・場所 当法人内、横須賀市内及び神奈川県内
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 NPO法人及び任意団体と一般市民30,000名
- ・支出額 240,000円

(7) 教育・不登校・ひきこもり等についてのシンポジウム・講演会の企画運営

- ・内容 横須賀市市民生活課企画提案型市民協働モデル事業として生活福祉課と協働し、シンポジウム「社会的ひきこもりの理解と支援」を開催した。
- ・日時 3/25
- ・場所 ヴェルクよこすか
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及び一般市民110名
- ・支出額 50,000円

(8) 就労を目指す若者に対する支援活動

- ・内容 ひきこもりの若者たちの就労支援研修の場を運営した。はるかぜ書店では店舗運営及び出張販売を行った。地域お助けサービスでは、草刈り、印刷物製作、清掃、運搬等の作業を行った。山形県の物産販売を行った。
上町商店街および上町イベント実行委員会より、以下の事業の運営を受託した。桜まつり（4月）、灯ろうまつり（7月）、収穫祭（10月）、ハロウィンフェスティバル（10月）。
横須賀市、株式会社ワットマン及び（一社）横須賀建設業協会と協働し、「古本回収プロジェクト」を実施した。
横須賀市市民生活課企画提案型市民協働モデル事業として生活福祉課と協働し自立支援のための就労体験受け入れ事業所の開拓事業を実施し、利用者の受け入れも行った。
- ・日時 通年
- ・場所 当法人はるかぜ書店、harucafe、上町商盛會商店街、横須賀市内
- ・従事者員数 3名（島田、石井、伊藤）
- ・対象者 正会員及び一般市民200名 延べ1500名
- ・支出額 2,235,854円

(9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

- ・内容 不登校・ひきこもり等に関する講演会や学習会等に講師を派遣し、課題に対する理解を促進した。
- ・日時 6/14、10/17、10/28、10/29、11/16、1/13
- ・場所 横須賀市生涯学習センター、専修大学、横須賀市総合福祉会館、川崎市多摩区役所、横須賀市総合高校、横須賀商工会議所
- ・従事者員数 1名（島田）
- ・対象者 正会員及び一般市民180名
- ・支出額 73,485円